

令和6年8月台風10号

○令和6年8月28日から台風10号に伴う内水被害を軽減するため、佐伯市及び大分県からの支援要請を受け佐伯河川国道事務所から排水ポンプ車6台を各樋門へ配置した。

【災害協定企業:谷川建設工業(株)、小田開発工業(株)、(株)盛田組、(株)風戸工務店、(株)佐々木建設】

○災害協定企業は、24時間体制で番匠川水系での排水作業を8月30日まで実施し、浸水被害軽減に貢献した。

山梨子樋門



小倉樋門

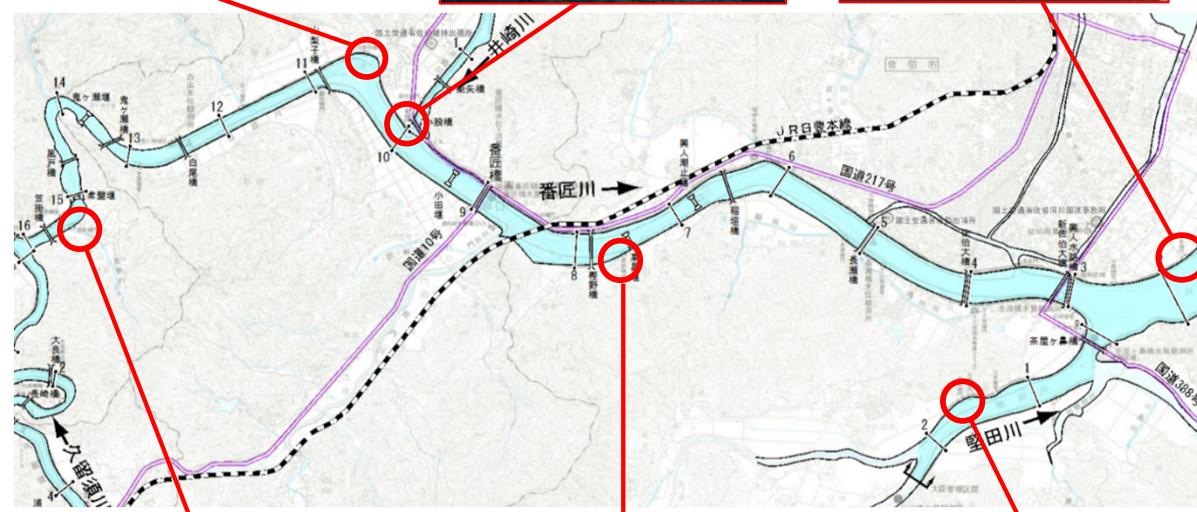


女島樋門



- 台風10号に伴う大雨(豪雨)により、番匠川での内水排除作業を行いました。
- 排水ポンプ車を堤防上に設置しているため暴風により大きく揺れることもあります。
- 今後も浸水被害を最小限に抑えるべく頑張っていきたいと思います。

谷川建設工業(株)
吉良 東 氏



- 過去の教訓を生かし長丁場になることを予測し、予備燃料を事前に確保しました。
- 今後も大雨が発生する可能性は0ではないため、関係機関、協力会社との密な連絡体制、人員確保など予期せぬ事態に対処できるように努めて参ります。

(株)盛田組
廣瀬 拓也 氏



- 番匠川の水位が上がり、川裏側の内水が排出できなくなりそうでしたので、排水ポンプ車を稼働し、内水被害を軽減しました。
- 雨量が多く、道路が浸水すると思われましたが通行止めは避けることができました。

笠掛樋門



樋野樋門



長谷樋門

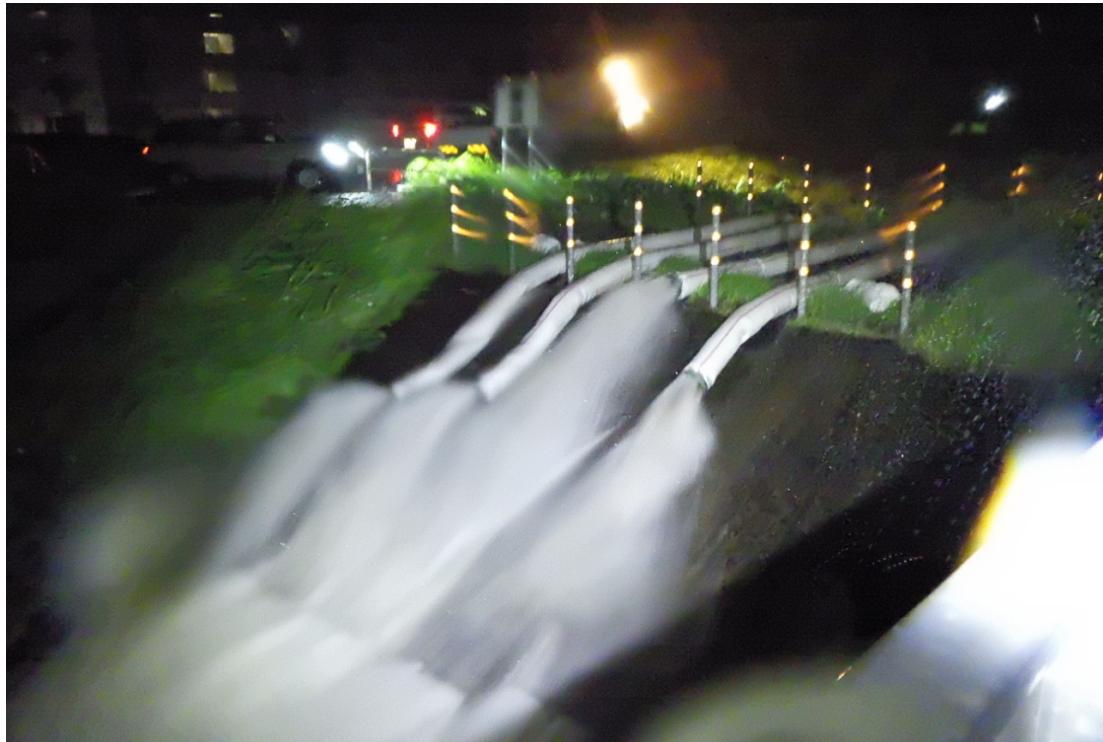
- 令和6年8月台風10号の影響により一級河川大淀川において各地で浸水被害が発生
- 浸水被害の拡大を防止するため排水ポンプ車を派遣。災害時協力会社の協力により排水作業を実施した
- 宮崎県宮崎市高岡町糸原では(株)岡崎組が8月28日夜から現場に待機。29日朝から夜にかけて排水作業を実施し浸水被害軽減に貢献した



(株)岡崎組
岡本 光利 氏

- 今回、台風10号による大雨で宮崎市の大淀川が増水し、支川内ノ丸川より住宅地や耕地に川の水が流入し浸水する危険性がありました。
- そのため水門ゲートを閉じて、排水ポンプ車 (60m³/分) により内水を大淀川へ排出しました。
- ポンプの稼働時間は約12時間でしたが、稼働中は地元住民が内水が確実に減っているのか時折見守っていました。
- 今回、宮崎市では竜巻が多数発生するような悪条件のなかでのポンプ稼働でしたが、特に昨今の異常気象によりこの排水ポンプ車は、周辺地域への被害を抑制するために必要不可欠だとあらためて実感しました。

- 令和6年8月台風10号の影響により一級河川大淀川において各地で浸水被害が発生
- 浸水被害の拡大を防止するため排水ポンプ車を派遣。災害時協力会社の協力により排水作業を実施した
- 宮崎県都城市高尾では丸宮建設(株)が8月28日午後から現場に待機。28日夜から29日午前にかけて排水作業を実施し浸水被害軽減に貢献した



丸宮建設(株)
永野 正文 氏

- 自社がポンプ設置を行う樋管の上流には、市営団地、一般住宅、整備工場があり、今までに何度も冠水被害にあっている地域であります。
- 8月の台風10号でも大淀川が増水しましたが、10時間程度ポンプを稼働させた結果、冠水被害を受けませんでした。
- 被害なくポンプ車を撤去できた事は災害時協力会社として大変良かったと感じました。これからも協力会社として活動して行きたいと思います。

- 令和6年8月台風10号の影響により一級河川大淀川において各地で浸水被害が発生
- 浸水被害の拡大を防止するため排水ポンプ車を派遣。災害時協力会社の協力により排水作業を実施した
- 宮崎県都城市下川東では都北産業(株)が8月28日午後から現場に待機。28日夜から29日午前にかけて排水作業を実施し浸水被害軽減に貢献した



都北産業(株)

- 台風10号による大雨の被害を最小限に止めるため出動要請に基づき、川東第2樋管へ排水ポンプ車で出動いたしました。
- 例年ないほどの強い雨風の中での作業となり恐怖を覚えました。その最中、ポンプや発電機の調子が悪くなってしまうアクシデントに見舞われましたがメンテナンス担当業者や国交省との密な連携により大きな被害を受けることなく作業を終えることができました。
- 有事の際に迅速な対応ができているのは、定期的に実施して下さる訓練や説明会のおかげであり、今後も積極的に参加する所存です。

- 令和6年8月台風10号の影響により一級河川大淀川において各地で浸水被害が発生
- 浸水被害の拡大を防止するため排水ポンプ車を派遣。災害時協力会社の協力により排水作業を実施した
- 宮崎県国富町田尻では(株)藤元建設が8月28日夜から現場に待機。29日未明から夜にかけて排水作業を実施し浸水被害軽減に貢献した

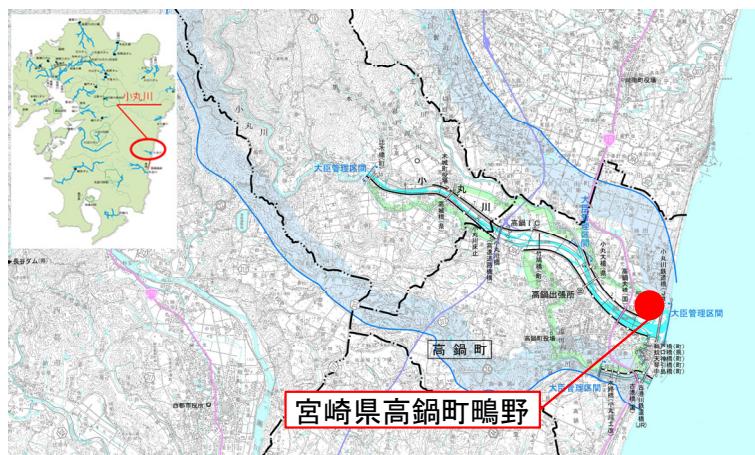
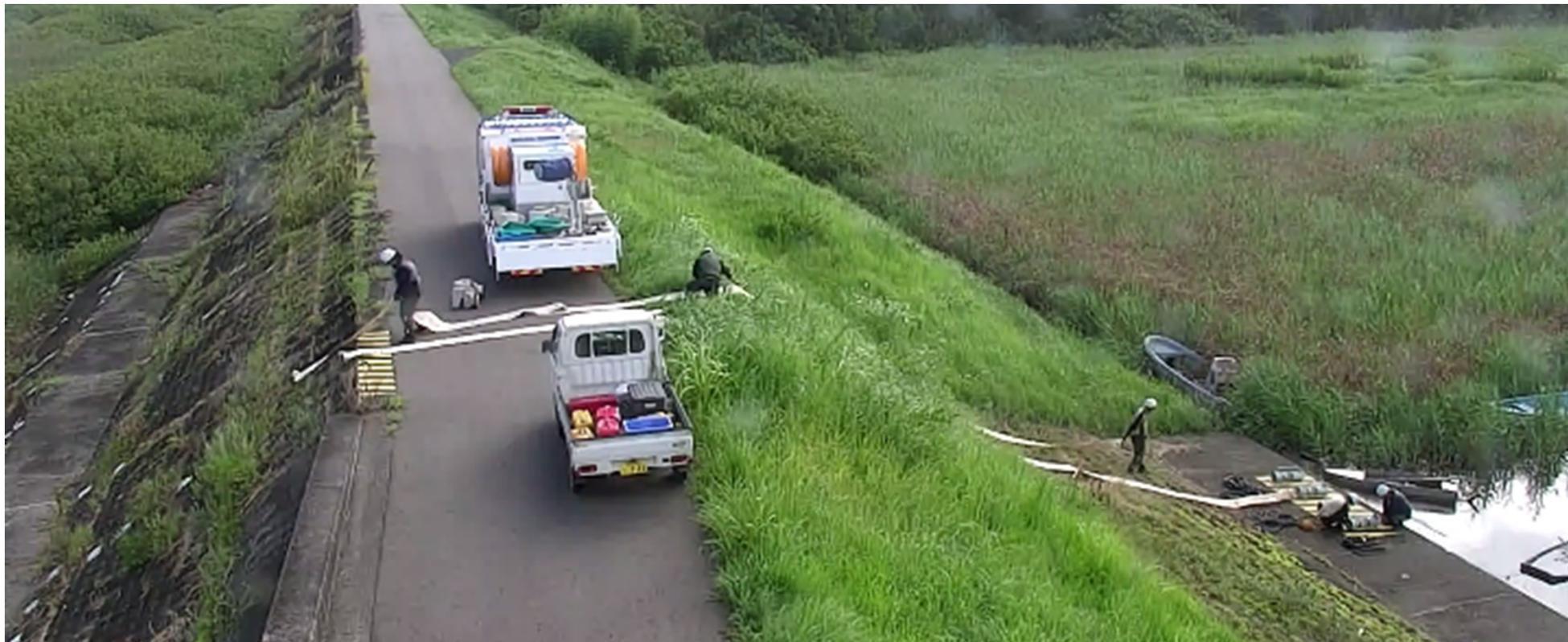


(株)藤元建設
日高 孝文 氏

- 台風10号に伴う大雨（豪雨）による、浸水被害が発生した箇所での排水ポンプ車（ポンプ8基）による内水排水作業に従事しました。
- 24時間体制での排水作業でしたが、地元消防団との密な連絡等（水門水位等など）により、安全かつ迅速な作業を行ったことで民家等の浸水被害を防ぐことが出来ました。

排水ポンプ車による内水排除作業 ((株) 河北) (宮崎河川国道事務所)

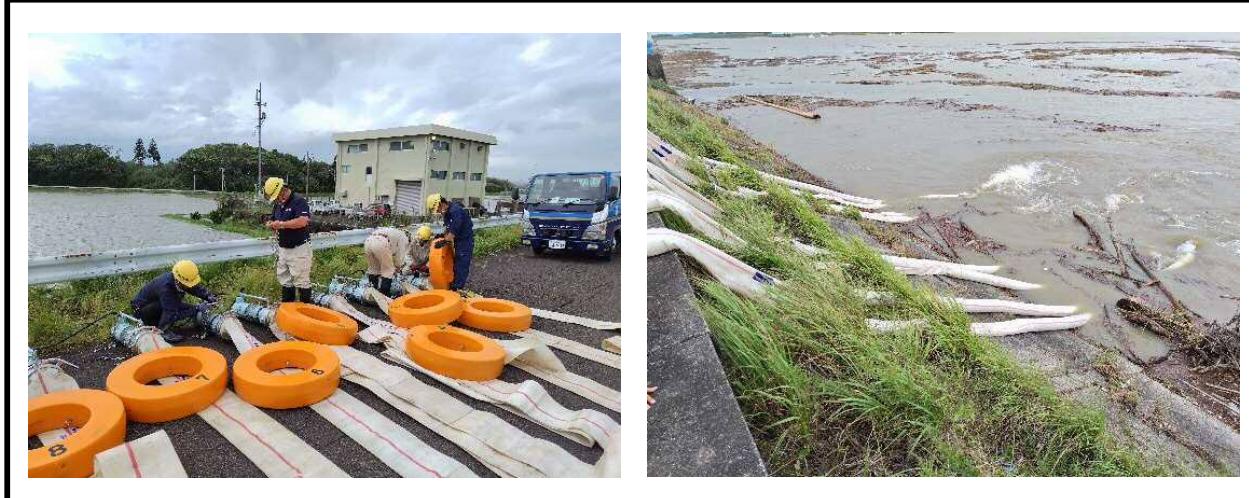
- 令和6年8月台風10号の影響により一級河川大淀川において各地で浸水被害が発生
- 浸水被害の拡大を防止するため排水ポンプ車を派遣。災害時協力会社の協力により排水作業を実施した
- 宮崎県高鍋町鳴野では浸水被害が予想されたため、(株)河北が速やかに排水ポンプ車の設置を行うなど貢献した



(株)河北
長友 寿満 氏

- 台風10号接近に伴い、鳴野樋門にポンプ車の設置を行った。
- 台風接近に伴い雨・風が激しくなり樋門での逆流が見られなかった為幸いポンプの稼働には至らなかった。
- 今後更なる台風および集中豪雨が予想されるので、高鍋出張所及び災害協定業者で連携を計り迅速な行動により鳴野地区並びに高鍋町住民の皆様の生命と財産を守っていけるように尽力したいと思います。
- そのため日頃より訓練を積み重ねて行きたいと思います。

- (被害状況)・令和6年8月29日台風10号の大雨により、一ツ瀬川水系一ツ瀬川において内水被害が発生。
- (対応状況)・宮崎県新富町から要請を受け、排水ポンプ車1台を派遣。排水作業を翌朝まで夜間を通して実施し、内水被害軽減に貢献した。



吉原建設(株)
坂元 正和 氏

・台風10号通過に伴う大雨により、一ツ瀬川河口付近で内水浸水被害が発生し、収穫前の稲作が湖で、水田の横には家屋が建ち並んでいて潮位の影響する場所でした。
排水ポンプ車1台(60m³/分)で、排水ポンプを8台稼働させ、夜間を通して17時間連続で内水排除作業を行いました。
・現地が海端で南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)も発令されたこともあり、特に夜間は避難先等への移動手段を考慮し強風の中作業しました。

- (被害状況)・令和6年8月29日台風10号の大雨により、一ツ瀬川水系一ツ瀬川において内水被害が発生。
- (対応状況)・宮崎県西都市からの要請を受け、排水ポンプ車1台を派遣し排水作業を実施。内水被害軽減に貢献した。



- ・台風10号により多くの被害を受けた西都市にて大雨（豪雨）が発生し西都市街地の中心を流れる一ツ瀬川において河川水位が上昇、右支川（市街地側）への逆流が生じた。
- ・台風による倒木や家屋倒壊が発生している中、安全な作業を実施すべく、堤内地（川裏）が冠水する前にポンプ設置を完了するため、迅速な内水排除作業が要求されたことに苦労しました。
- ・「地域社会への貢献」この役割を当社員全員が理解し行動したことで迅速な対応（作業）ができました。

- (被害状況)・令和6年8月29日台風10号の大雨により、大淀川水系大淀川の支川において河川の増水が発生。
- (対応状況)・宮崎県からの要請を受け、六田川排水機場へ排水ポンプ車1台を派遣狭隘な現場条件のなかで迅速にポンプ設置、排水作業を実施し被害軽減に貢献した。



(株)南九州みかど
岡林 徹 氏

- ・台風10号に伴う大雨(豪雨)により、大淀川水系大淀川の支川において河川の増水が発生しました。1日でも早い復旧のため内水排除作業を行いました。
- ・狭隘な現場条件の作業で二次災害を絶対に起こさないよう安全に配慮しつつ安全かつ迅速な作業を行うことができました。

○(被害状況の把握)・令和6年台風10号の豪雨により、国土交通省の要請を受け被害状況の把握のため河川管理施設の洪水時河川巡視を行った。



令和6年台風10号の巡視状況写真



令和6年度 災害対応協力業者8社 (河川部門)

上田工業株式会社	河川部門
株式会社山崎産業	河川部門
日新興業株式会社	河川部門
株式会社綾建設	河川部門
木村産業株式会社	河川部門
湯川建設株式会社	河川部門
株式会社矢野興業	河川部門
株式会社伊東建設	河川部門



日新興業(株)
山田 誠吾 氏

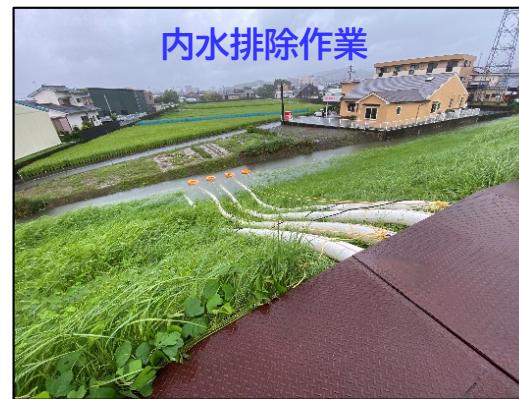
堤防決壊等の災害をニュース等で見ているため、要請による洪水時河川巡視は、とても重要と感じています。ちょっとした見逃しが、大きな損害に繋がるため、今後も細かい巡視に努めていきたいと思います。



(株)矢野興業
甲斐 理愛 氏

○河川巡視要請の依頼を受け、巡視箇所へ向かいました。巡視範囲である五ヶ瀬川及び北川は台風の影響でかなり増水しており、堤防の異常の有無や水門・樋管の点検、塵芥の堆積状況の確認・報告を行いました。点検の結果、被害等無く安心しました。

- 令和6年8月28日から台風10号接近に伴う大雨の被害に対して祝子川が増水し樋門ゲート閉鎖により内水排除が必用となった。
- 当日18:00、延岡河川国道事務所から排水ポンプ車1台・照明車1台の設置要請を受け、迅速に作業員を参集し8月30日に撤去する間浸水被害軽減に貢献した。



台風10号の上陸により、河川の増水に伴い、宅地側の内水位上昇を防ぐため、樋門ゲートを閉じて排水作業を行いました。台風が接近する中、夜間の雨の中でのポンプ車の設置は苦労しましたが、今回が初めてのポンプ稼働にもかかわらず、会社のサポートのおかげで円滑に作業を進めることができ、被害を未然に防ぐことができ、地域への貢献ができたことは、大変良かったと思います。



(株)山崎産業
甲斐 史也氏



(株)山崎産業
橋本 直樹氏

今回、台風10号の影響で河川増水が見込まれ、急遽夕方6:00過ぎに会社からポンプ車設置を指示されました。強い風雨の中での作業となりましたが、夜半から宅地側の排水路の水位が上昇し始めたため、自分自身、今回初めてポンプ稼働を行いました。設置から稼働に至るまで大変でしたが、周囲の協力のおかげで被害が発生せず、地域への貢献ができたことを嬉しく思います。今回の経験を通じて、今後増水が予想される際は、可能な限り日中にポンプが設置できたら良いと思いました。



○令和6年の台風第10号は、8月22日3時にマリアナ諸島で発生し、非常に強い勢力を維持したままゆっくりとした速さで北に進み、29日8頃に薩摩川内市付近に上陸した。川内川流域において、降り始めからの総降水量は、大口では233.0ミリ、紫尾山では294.5ミリ、さつま柏原では296.0ミリ、川内では258.5ミリもの大雨を記録した。

○大雨に備え川内川流域では流域自治体から要請を受け排水ポンプ車を配備し、内水被害を軽減するため7カ所の水門等において排水作業を行った。

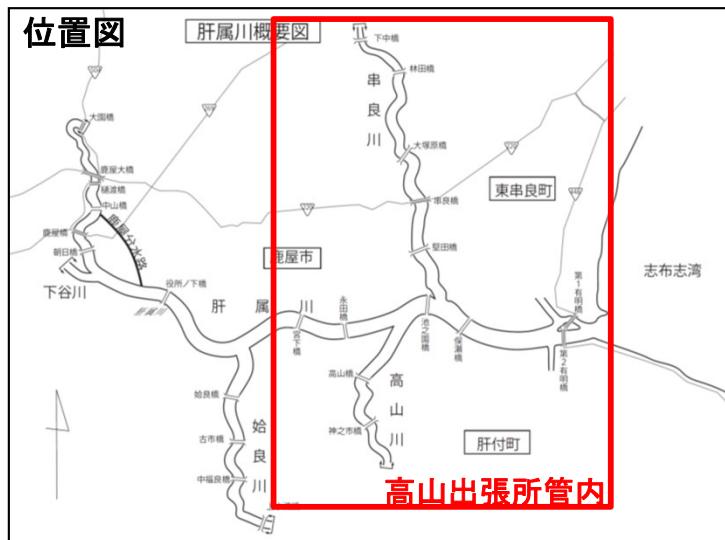
【支援企業：福地建設（株）、林建設（株）、ヤマグチ（株）、（株）山下組、（株）平原組、（株）坂下組、（株）緒方組】



【支援企業コメント】

- ・過去最大クラスの台風襲来が予想された為、緊張感をもって排水作業に備えました。
【福地建設（株）】
- ・大雨の中、ポンプ車を設置・排水稼働させて、水門近くの民家に浸水被害がなくて良かったです。
【林建設（株）】
- ・台風の接近、上陸により大雨と浸水被害が心配される中、事前の準備と当日の排水活動等により被害の軽減、回避ができ、地域の要請にこたえることができたと考えます。
【ヤマグチ（株）】
- ・地元住民の「いつも災害防止の為に頑張ってくれてありがとう」の一言で心が満たされます。
【（株）山下組】
- ・作業班と協力し迅速な対応が出来たと思っております。内水側の河川の越水はありましたか、住宅等への浸水被害はなかったのでポンプ稼働して良かったと思っております。
【（株）平原組】
- ・台風が接近する強風雨での排水ポンプ設置は大変でしたが、排水ポンプの稼働により地域に被害がなく安心しました。今後も地域のために迅速な対応を行ってまいります。
【（株）坂下組】
- ・現地の足場が悪かったため気を付けながら、安全第一で作業を行いました。
【（株）緒方組】

- 8月28日の台風10号接近により、国土交通省の要請を受け高山出張所に出向き、防災時の情報収集、台風時の現場での安全で効率的な作業や水防時の留意事項に対し経験をもとにアドバイスを行った。（水防対応の支援）
- 台風10号による出水による、洪水時の河川巡回に当たって、これまでの肝属川流域の経験より、巡回に当たっての現場の着眼点などを各巡回業者にアドバイスを行い、被災内容の早期の把握に寄与した。（洪水時巡回の支援）



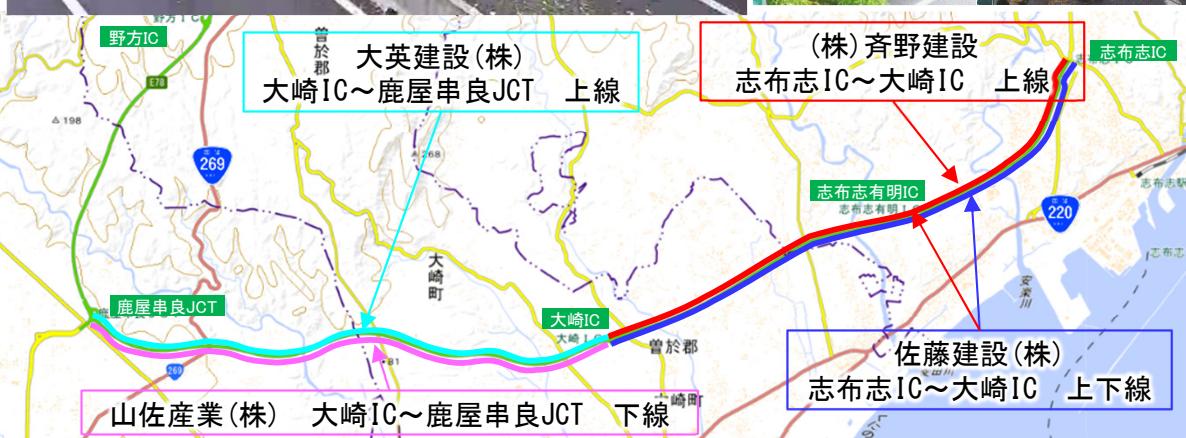
防災エキスパート

- 超大型の台風10号の接近にともない、前日に高山出張所と鹿屋出張所の2箇所に派遣要請があり、私は高山出張所のほうで水防活動の支援をいたしました。
これまでの肝属川流域の経験を生かすべく巡回業者へのアドバイス等を行いましたが、災害対応の一助となれば本望です。

- (被害状況)・台風10号の影響により東九州自動車道では令和6年8月28日19時～30日7時まで36時間の通行止めを実施した。
- (対応状況)・台風10号通過後の本線には草木が散見しており、一時間でも早く通行規制を解除するため、災害対応協力業者4社の協力を得て早期解放に努めた。



○大型の台風10号通過に伴い、通行止めを実施していた東九州道において、災害協定に基づく出動要請の連絡を受けた後、弊社の先輩技術者達と連携してすぐに担当区間へ向かいました。事前に社内で編成した先発隊のパトロール班が先行して現地の状況を観察し、パトロール班からの現場の状況や必要な資機材・人員などの詳細な連絡をもとに、台風通過後の早期の通行止め解除を目指し、弊社作業班にて道路の清掃や倒竹除去、飛散物の修繕、側溝や樹の中に溜まった落葉や土砂撤去作業などの啓開活動を行いました。また、隣接区間業者への応援作業も実施し、無事故・無災害で無事、東九州自動車道の通行再開をすることが出来ました。



○台風10号の影響で通行止めとなっていた東九州道において、大隅河川国道事務所職員指示のもと、作業者全員と前後の業者が協力して路面清掃作業を行いました。
その結果、予定通りの開通に寄与でき、多くの利用者の皆様に早期にご利用いただけるようになったことを嬉しく思います。



○台風10号の影響により、東九州道の通行止めとなり路面に散乱した草木等の撤去作業を行いました。
途中、雨水によって草木等が流入した排水設備の清掃も行い早期の通行再開を目指しました。



○緊急出動の要請を受け、集合場所にて、災害発生状況及び復旧作業の説明を受けました。
早期の通行再開を目指し、草木等の撤去作業を迅速に行いました。
弊社の担当区間完了後、応援要請を受け、各業者協力し、作業を完了しました。



- （被害状況）：令和6年8月28日～29日の2日間で422mmもの大雨に見舞われ、国道210号由布市庄内町で4箇所において、法面より土砂が流入し通行に影響をもたらした。
- （対応状況）：通行規制を解除するため、また二次災害を防ぐために、被災箇所で流出した土砂を撤去、崩落箇所に大型土のう積みを設置した。

109k650 上り 被災状況・応急復旧状況



109k930 上り 被災状況・応急復旧状況



建設サービス(株)
笠置 弘三氏

○被災箇所は片側一車線の交通量の多い一般国道であるため、迅速な災害対応が求められました。二次災害が起きないように作業従事者の安全確保に最大限配慮し、交通規制を行いながら災害発生の当日夜に応急復旧を完了させることができました。雨の中、作業にご協力してくださった皆様に感謝申し上げます。

位置図



被災箇所



112k540 下り 被災状況・応急復旧状況



115k360 下り 被災状況・応急復旧状況



日本道路(株)
松長 慶志郎氏

○大雨による土砂崩落灾害で国道210号へ土砂が流出し、片側が通行出来ない状況でした。通行規制を行いながら、崩落斜面直下での作業ということもあり、協力会社と共に二次災害を絶対に起こさないよう安全に配慮しつつ、土砂撤去・大型土のう積み作業を進め、作業員全員が事故無く交通を開放できました。



三浦国土建設(株)
平畠 圭也氏

○緊急出動要請の連絡を受け、現地へ向かいました。災害発生状況及び復旧方法の説明を受け、建設サービス様と協力し早期に土砂撤去作業等を完了させ、通行規制解除を目指し、昼夜作業班を編成し迅速な現地対応を行う事ができました。

- 令和6年台風10号の接近により、大分県及び大分市からの要請を受け、8月28日に排水ポンプ車を事前配備した。
(大分川1台、大野川4台)
- 災害時協力業者は8月29日早朝より出動、大分川水系及び大野川水系での排水作業等を30日まで実施し、浸水被害の軽減に貢献した。【災害時協力業者:梅林建設(株)、柴田建設(株)、後藤建設(株)、利光建設工業(株)、(株)センコー企画】



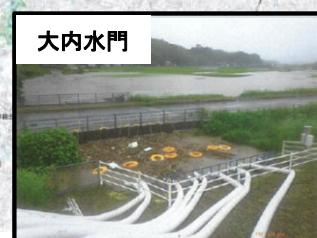
国分樋管



宮谷樋門



古川水門



大内水門

国分樋管への排水ポンプ車の配置、および排水作業を行いました。
内水面の急激な水位上昇により、ケーブル格納BOXの水没が懸念され、
接続作業が時間との勝負でした。
樋管操作を行う地元消防団と連携し、浸水被害を抑制できました。



《国分樋管》梅林建設(株) 後藤 智之 氏



台風シーズンを向かえ、排水ポンプ車のホース設置場所を毎月除草作業を行いました。台風当日は消防団と連携し水門の開閉に合わせて排水ポンプの稼働を行い、一部水田は冠水しましたが県道は冠水を避けることが出来ました。
今後も、浸水・冠水災害に対して迅速に対応できる様に努めて参ります。



《古川水門》後藤建設(株) 日坂 英二 氏



令和元年より排水ポンプ車運用に責任者として従事しています。
台風時の作業では、強風でおられ飛ばされそうになりながら、排水ホースの設置などを厳しい環境の中で作業をしております。
今後も、洪水等が予測される時は連絡体制や準備を整え、関係機関からの指示・要望に対応できるように努めて参ります。



《宮谷樋門》(株) センコー企画 吉本 勇輝 氏

台風10号の通過が予想された為、要請があり排水ポンプ車を設置しました。その後、待機要請がかかり現地待機準備しました。
今後も敏速な対応ができるように努めて参ります。